

**平成30年度
福島商工会議所 経営発達支援計画
実施報告書**

実施期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日（5か年計画）

平成30年3月16日 経済産業大臣認定

平成31年3月31日

福島商工会議所

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

※調査の事業上の位置づけ、提供方法等は下表の通り。

調査名称	小規模事業者支援のための調査の性格・位置づけ		内部共有手段		提供先と提供情報			
	短期的施策のための調査 地域経済対策、小規模事業者支援策の基礎資料	中長期的施策のための調査 事業継続のための事業計画策定支援及び新たな需要開拓支援の基礎資料	経営指導員ミーティングで説明・協議	職員会議で説明	会報誌で説明（小規模事業者用）	ホームページ（行政・小規模事業者用）	マスコミ（※）	行政等
(1) 中小企業景況調査	○		○	○	○	○	○ (4回)	○
(2) LOBO調査	○		○	○		○		
(3) 小規模事業者実態調査（現在集計中）		○	○	○	○	○	○	○
(4) 年末年始商戦アンケート調査		○	○	○	○	○	○	○

※毎月1回開催している市内マスコミ17社との定例懇談会にて発表・説明

《福島商工会議所 会員実態調査》

対象事業所数：3,863 事業所

調査票発送日：平成30年7月25日

回答締め切り：平成30年9月30日

回答数：1,393 事業所

回答率：36.1%

業種	回答数 企業数(社)	企業形態		
		法人	個人	無回答
製造業	170	150	20	0
建設業	253	221	30	2
卸売業	108	96	11	1
小売業	224	167	53	4
旅館・飲食業	93	55	38	0
サービス業	545	381	150	14
合計	1,393	1070	302	21

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
経営分析事業所件数	10社	55社	60社	65社	70社	75社
		20社 (延23社)				

3. 事業計画等策定支援に関すること【指針②】

(1) 事業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
事業計画策定事業者数	20社	45社	50社	55社	60社	65社
		41社				

(2) 創業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
創業計画書作成事業者数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社				

(3) 事業承継計画策定支援

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
事業承継計画策定数	1件	2件	3件	4件	5件	6件
		14件				

4. 事業計画等策定後の実施支援に関すること【指針②】

(1) 事業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
事業計画のフォローアップ 対象件数	10社	50社	55社	55社	60社	60社
		41社				
事業計画のフォローアップ 支援回数	10回	200回	220回	220回	240回	240回
		123回				

(2) 創業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
創業計画のフォローアップ 対象件数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社				
創業計画のフォローアップ 支援回数	40回	50回	54回	60回	66回	70回
		51回				

(3) 事業承継計画策定後の実施支援

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
事業承継計画のフォローア ップ対象件数	1社	2社	3社	4社	5社	6社
		14社				
事業承継計画のフォローア ップ支援回数	4回	8回	12回	16回	20回	24回
		20回				

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(1)商品力向上のための試食会(商品力向上試食(飲)事業)の開催

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
試食会の開催	—	4	4	4	4	4
		1				
試食会への出店企業	—	8	10	12	14	16
		5				
アンケート回収目標枚数	—	160	200	240	280	320
		94				
個社支援目標数	—	50	55	60	65	70
		10				

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業（試食会、専門家によるブラッシュアップ等の支援、専門家による販売促進強化セミナー）」を実施し、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

(2)「ランチ de ラリー」を活用した需要動向の提供

【既存事業、一部新規】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	H31	H32	H33	H34
アンケート調査票回収枚数	0	2,800	2,800	3,000	3,000	3,200
		470				
本調査による個店支援数 ※飲食店全体に対する 分析結果の提供件数は除く	69	70	70	75	75	80
		10				

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「飲食店割引クーポン「ランチ de クーポン」を活用したレベルアップ事業」として、参加店の売上(利用)状況や利用者アンケート等、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(1) 商談会への出展支援及び商談会(マッチング)の実施

① 商談会への出展支援及び他商工会議所と連携した商談会の実施

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

商談件数	現状	H30	H31	H32	H33	H34
出展件数	0 件	3 件	4 件	5 件	6 件	7 件
		0 件				
商談件数	0 件	12 件	16 件	20 件	24 件	28 件
		0 件				
成約件数	0 件	3 件	4 件	5 件	6 件	7 件
		0 件				

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、商談会への出展を目指すための「販路開拓塾(勉強会)」を開催し、新たな販路を開拓する有効な手段のひとつとしての商談会参加に向けた実践力を養った。

② 製造業・県立医大・医療機器メーカー等とのマッチング事業 《福島市医産連携推進事業》(工業)

【継続事業(一部新規)】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

マッチング件数	現状	H30	H31	H32	H33	H34
出店件数	2 店	2 店	2 店	2 店	2 店	2 店
		2 店				
医療機器メーカー等とのマッチング事業	3 件	3 件	4 件	4 件	5 件	5 件
		0 件				
成約件数	0 件	1 件	2 件	3 件	4 件	4 件
		0 件				

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組み

1. 福島駅前元気プロジェクト事業の実施

【継続事業】

【事業スケジュール及び実績】

※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	H31	H32	H33	H34
福島駅前元気プロジェクト事業	4回	4回	4回	4回	4回	4回
		4回				

2. 福島駅前通り・県庁前通りリニューアル事業

【継続事業】

【平成30年度実績】

項目	現状	H30	H31	H32	H33	H34
福島駅前通りリニューアル事業	アーケード撤去・街路灯設置終了 修景整備事業については、再開発事業を見据えながら実施予定 					
県庁通りまちづくり事業	まちづくり計画に沿ったソフト事業の展開 【商業のまち 福島の歴史セミナー】 開催日：H30.10.11 会場：大原記念ホール 受講者数：70名					

3. 福島わらじまつり

【継続事業】

【本祭り目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	H31	H32	H33	H34
観客数	280,000人	281,000人	282,000人	283,000人	284,000人	285,000人
		293,000人				
参加者数	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人
		7,053人				

※参加者数は、会場（国道13号線の車道）のキャパの関係から現状が限界となっているため。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業名	連携者	連携内容	頻度	実績
オールふくしま 中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会	福島県及び県内の金融機関、商工会議所、商工会、東日本大震災事業者再生支援機構、東北税理士会福島支部連合会、福島県中小企業診断協会、福島県信用保証協会、福島県産業振興センター、中小企業基盤整備機構東北支部などの支援団体648社	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業、小規模事業者に対する下記の支援 ・経営改善及び事業再生等の取り組みへの支援 ・事業展開など経営課題に関する支援 ・支援に必要な情報の共有 ・企業支援人材の育成のための情報交換や研修等の開催 	14回	7回
創業・新事業連携	東邦銀行、福島銀行、福島信用金庫、日本政策金融公庫国民生活事業福島支店、TKC東北会福島県支部、福島県社会保険労務士会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の創業者と第二創業者に関する情報交換 ・創業計画書の作成支援 ・創業支援ノウハウの共有と融資 	4回	4回
福島市医産連携推進事業	福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・参加企業の技術内容の確認・分析を実施し、医療機器分野参入に向けた指導・助言 ・医療機器分野に関する各種情報の提供や企業間マッチング、今後の予測分析の実施 	8回	8回
よろず支援拠点	よろず支援拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の小規模事業者の現状や、直面する経営課題・問題などに関する情報交換 ・小規模事業者の経営計画策定等に関する支援ノウハウの共有 	2回	22回

※その他、福島県商工会議所連合会（事務局：福島商工会議所）において、県内会頭会議や専務理事会会議、事務局長会議、中小企業相談所長会議、指導員・補助員研修会などにおいて、随時情報交換を行っている。

2. 経営指導員の資質向上等に関すること

(参考：平成30年度実績)

開催日	研修名	内容	受講者	場所
30年度	中小企業基盤整備機構基礎研修I	経営診断、商圏分析ほか	2名	中小企業大学校東京校・仙台校
30年度	中小企業基盤整備機構専門研修	伴走型支援計画策定、資金調達、IT活用支援他	5名	中小企業大学校東京校・仙台校
30.6.21 ～22	福島県内商工会議所 経営指導員等研修会	県商工労働・まちづくり支援施策、消費税、各団体支援制度、創業事例、先端技術事例視察等	12名	福島商工会議所他
30.7.5 ～6	商工会議所経営指導員全国研修会	POSデータ等を活用した経営分析支援について等	1名	ホテルメルパルク名古屋
30.8.23 ～24	小規模事業者支援研修	経営発達支援（個社支援型）、ITスキル向上等	1名	Jヴィレッジ
30.9.3	日商オンラインセミナー	クラウド会計、モバイルPOSレジ、地域経済分析	6名	福島商工会議所
30.9.5 ～7	マル経等基礎研修会	マル経融資制度の概要と推薦手順について、ケーススタディ等	2名	フクラシア東京ステーション
30.10.18 ～19	福島県内商工会議所 補助員等研修会	販路開拓、事業承継、創業事例、事例、地域活性化事例視察等	7名	いわきワシントンホテル他
30.11.21 ～22	福島県内商工会議所 経営指導員等研修会	6次化、事業継続計画、伴走型支援事例、商品開発、先端技術事例視察等	8名	郡山商工会議所他
30.12.18～ 12.21	職員・経営指導員等による効果的な広報PRを支援するためのSNS研修 (伴走型小規模事業者支援推進事業)	各SNSの特徴と今後、ITツールの最前線、HPを使った集客と成約率UPと販促、Googleマップを使った実店舗集客法、福島で有効なIT活用等	29名	福島商工会議所
30.12.21	日商オンラインセミナー	消費税軽減税率導入対策、(クラウド会計・モバイルPOSレジ・キャッシュレス)	11名	福島商工会議所
31.3.18	日商オンラインセミナー	消費税軽減税率対策窓口相談等事業等	6名	福島商工会議所
30.4月～ 31.3月	経営指導員ミーティング (週一で開催)	事業所接触履歴と指導内容等の確認・情報共有	6名	福島商工会議所

福島商工会議所平成 30 年度経営発達支援計画評価委員会 報告書

1. 日 時 平成 31 年 4 月 23 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00

2. 場 所 福島商工会議所会議室

3. 出席者

[委 員] (順不同：敬称略)

福島県北地方振興局企画商工部	部長	長 尾 憲 宏
福島市商工観光部	次長	杉 内 剛
福島大学人文社会学群人間発達文化学類	教授	初 澤 敏 生
一般社団法人福島県中小企業診断協会	事務局長	段 林 孝 信
福島商工会議所 中小企業振興委員会	委員長	内 池 浩
福島商工会議所女性会 地域活性委員会	委員長	須 藤 康 子
福島商工会議所	専務理事	石 井 浩

[事務局]

福島商工会議所	常務理事 事務局長	本 田 政 博
〃	事業推進部長	日下部 之 彦
〃	事業推進部次長	椿 哲
〃	事業推進部経営支援課長	大 金 英 一

4. 事業報告

まず、経営発達支援計画策定の背景と当所の計画概要について、続いて、当所の伴走型補助事業の平成 30 年度事業内容について、事務局より説明。

次に、当所経営発達支援計画に係る平成 30 年度事業について大項目ごとに事務局より説明し、その後評価をいただく形で進行。

5. 評 価

平成 30 年度事業運営に関しては、評価委員会からの総意として、概ね良好との評価をいただき、今後とも計画に沿って、小規模事業者支援を推進するよう要請された。